

令和3年度第3回苫小牧市環境基本計画推進会議

会 議 次 第

日 時 : 令和4年3月15日 (火) ~ 令和4年3月22日 (火)
形 式 : 書面開催

1 議 題

- (1) 令和3年度実施事業について (活動報告)
- (2) 令和3年度活動実績について
- (3) 令和4年度実施会議、事業について (案)

2 意見書の提出について

議題(1)～(3)について、ご承認の可否を同封の『意見書』によりご回答願います。また、全体を通してのご意見やご質問等がありましたら、併せてお寄せください。返信用封筒による郵送、FAX・電子メール、いずれかの方法で御回答願います。

エコ企業見学会 実施概要

1 趣旨・目的

企業の環境負荷低減に向けた取組や技術などを学び、環境保全への取組に関心を持つきっかけにつなげる。

2 実施内容

地球温暖化防止対策につながる、被災木などの再利用やバイオマス発電における地産地消の再生可能エネルギーの在り方等を学び、環境負荷低減に取組み地元根付いた貢献をしている事業所を見学するバスツアーを実施する。

3 企画概要

- (1) 主 催 苫小牧市環境基本計画推進会議
- (2) 日 時 令和3年11月25日(木) 12時45分～16時00分
- (3) 見学施設 (株)イワクラ、苫小牧バイオマス発電(株)
- (4) 講 師 上記事業所の担当者
- (5) 対 象 苫小牧市民10人(抽選)
- (6) 開催告知 広報とまこまい11月号、広報メモ、HP、ポスター、Facebook、Instagram
- (7) 申込期間 令和3年11月1日(月)～11月12日(金) ※抽選日：11月15日(月)
- (8) 申込方法 電話、FAX、Eメール、電子申請
- (9) 事業評価 参加者アンケート、事業結果は推進会議HPに掲載

4 当日スケジュール

時 間	内 容
12:45～13:00	受付(市役所)
13:00～13:20	(バス移動)
13:20～14:20	(株)イワクラ
14:20～14:30	(バス移動)
14:30～15:30	苫小牧バイオマス発電(株)
15:30～15:40	(バス移動)
16:00	解散(市役所)

5 その他

- ・市役所東側集合、解散とする。
- ・推進会議委員の役割：見学中における参加者の安全確保。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じる。

「エコ企業見学会」開催結果

令和3年11月25日（木）12:45～16:00

見学先：株式会社イワクラ、苫小牧バイオマス発電株式会社

参加者：市民8名、推進委員3名

【株式会社イワクラ】

- ① 初めに、環境負荷低減の取組や製品についてご説明いただきました。

展示コーナーでは、木質ペレットや燻製用チップ、薪などを実際に手に取ってご覧いただきました。



- ② 工場へ移動し、間伐材や廃材を利用した製品の製造工程を見学しました。

粉碎⇒選別⇒加工・製造ラインを間近でご覧いただきました。



出来上がった製品は
建材や家具に加工されます



モニター室を見学！

【苦小牧バイオマス発電株式会社】

- ① 初めに、バイオマス発電の仕組みや、地球温暖化対策、カーボンニュートラルへの取組についてスライドを用いてご説明いただきました。参加者の皆さんはメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。



- ② 間伐材などの原材料は苦小牧市近隣（半径 150 km 以内）から調達され、地産地消に貢献します。



敷地内に保管された間伐材です



燃料（チップ）に加工されます

- ③ 施設内にて、バイオマス発電の工程を間近で見学しました。



間近で発電の仕組みを知ることができました！

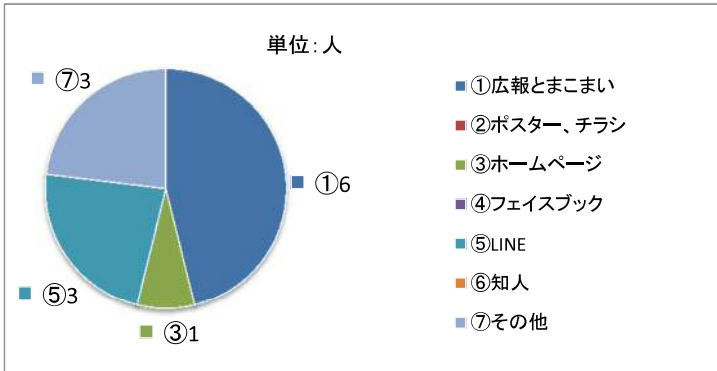


実際に燃焼する様子。赤い炎が見えます！

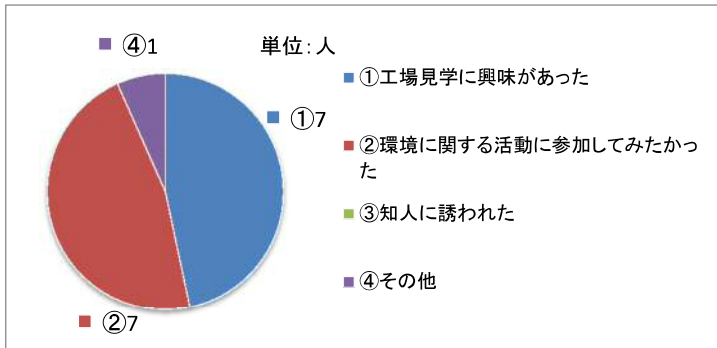
「エコ企業見学会」アンケート結果（回答11人）

開催日時: 令和3年11月25日 12:45~16:00

1 本日の見学会をどうやって知りましたか？(いくつでもOK)



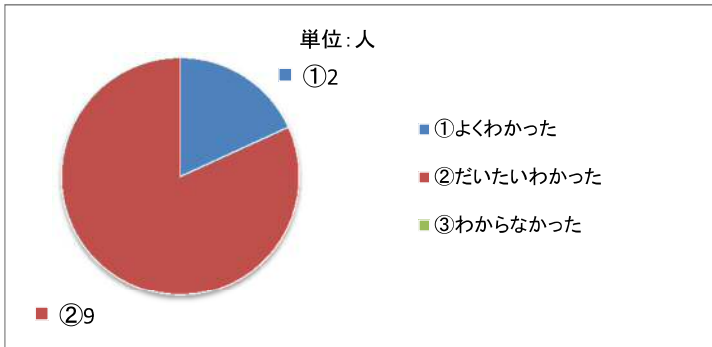
2 なぜ参加しようと思いましたか？(いくつでもOK)



その他(抜粋)

・地元企業の工場見学に興味があった

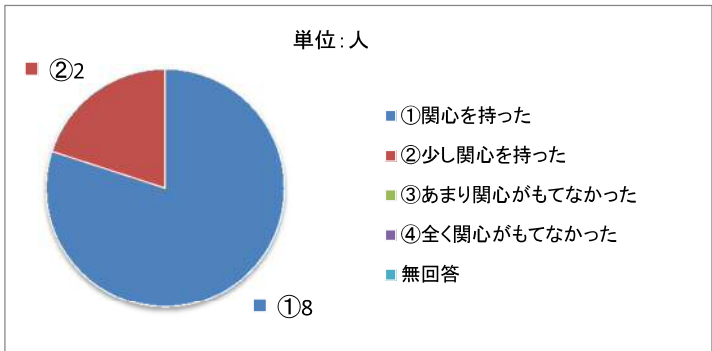
3 説明内容はわかりました？



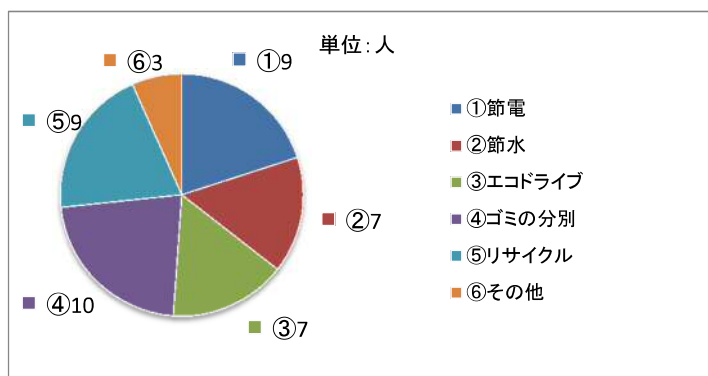
理由(抜粋)

・企業担当者の方が親切、丁寧に説明してくれた。
 ・機械の音で聞き取りにくかったり、見えにくい場面があった。
 ・分かりやすい説明で良かった。
 ・わからない単語が出てくることもあり、色々勉強しようと思った。
 ・企業の取組内容や商品にとても興味を持った。

4 本日の見学会で環境負荷低減に関する取組に関心をもっていただけましたか？



5 エコに関する取組として、ご自身が普段行っていること、これから行いたいことはありますか？



その他(抜粋)

- ・節水シャワーヘッドへの交換
- ・過去にJAFのエコドライブセミナーに参加した。
- ・古着等を知人に譲ったり、リサイクルショップに持って行く。
- ・キッチンで出た野菜くず等を庭に埋めてたい肥にしている。
- ・残さないように気を付けて調理・飲食している。
- ・繰り返し使用できるホッカイロを使用
- ・家の中の暖房設定を「低」にする

6 本日の見学会で感じたことなど、感想をご自由にお書きください。

(抜粋)

- ・普段は外から見ていた工場・施設を細部まで見ることができ、関心を持った。
- ・間伐材などが色んなことに利用されていたと知ることができた。
- ・自分の目で見て、知ることができて良かった。
- ・「カーボンニュートラル」は、森と電気と社会を守ることだと感じた。
- ・2社とも「試行錯誤している」とのことで、大きな会社でも親しみを感じた。
- ・バスでは快適に過ごすことができ、景色も見えて楽しかった。
- ・また機会があればぜひ参加したい。
- ・このような工場見学の機会がなかなか無い中で、楽しかった。
- ・大人になってから初めての工場見学で楽しかった。
- ・苫小牧市内の工場を知るうえで、実際に見学することは必要と感じた。
- ・寒かったので、10月頃までには実施してほしい
- ・身体に障害があっても参加できてありがたかった。
- ・スタッフの対応が良かった。
- ・粗品をもらえてよかった。

7 この見学会以外に、参加したい、もしくは今後やってほしいイベントはありますか。

(抜粋)

- ・王子製紙の工場、廃棄物処理場の見学
- ・林業関連の活動を見学してみたい
- ・海に関する環境活動を知りたい
- ・苫小牧のガス採掘について知りたい
- ・市内小中学生向け、または親子(家族)での工場見学
- ・ウトナイ湖に生息する動物・植物の紹介
- ・見学会+体験(手作りなど)
- ・森林の見学を通してCO₂の対策等を学ぶことが必要

突撃！とまエコ企業@大鎮キムラ建設(株) 実施概要

1 趣旨・目的

苫小牧市内の企業におけるエコな取組を取材し、作成した動画をインターネット上で公開することで、市民への環境啓発を行う。

3 企画概要

- (1) 日程 【撮影】令和3年11月29日(月) ※予備日12月2日(木)
【公開】令和4年3月予定
- (2) 取材先 大鎮キムラ建設株式会社 及び 同社 ZEH モデルハウス
- (3) 公開方法 苫小牧市公式 YouTube チャンネルにアップロード
- (4) 周知 環境保全課 HP、Facebook、Instagram、庁内インフォメーション、
推進会議委員への文書送付

4 撮影方法

取材者が企業担当者と一緒にカメラに映り、事業所を見て回る。

5 動画構成 (6分程度)

- | | |
|--------------------------|---------|
| ① オープニング、企業概要説明 | (0分30秒) |
| ② パネル等を用いた ZEH (ゼッチ) の説明 | (1分30秒) |
| ③ モデルハウスにて各設備の説明 | (3分00秒) |
| ④ ダイジェスト | (0分20秒) |
| ⑤ 担当者より環境に対するメッセージ | (0分30秒) |

動画が公開されましたら、改めて連絡申し上げます。

苫小牧市ゼロカーボンシティ宣言記念 「ゼロカーボンポスターコンテスト」実施要領

1 趣旨・目的

市内の児童からゼロカーボン（地球温暖化対策）に関するポスターを募集することで、次世代にとって地球温暖化問題を身近なものとし、環境に対する保全意識を高める。

2 テーマ

「地球温暖化とSDGs」

SDGsの17の目標のうち、ゼロカーボン（地球温暖化対策）に関係する目標を1つ選び、その目標を達成させたいという想いを表現すること。また、一定のメッセージを込めること。

目標例)

7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」

太陽光発電、バイオマス発電といった再生可能エネルギーについて

13「気候変動に具体的な対策を」

地球温暖化を進めないための対策（CO₂排出量の削減、CO₂吸収量の増加等）について

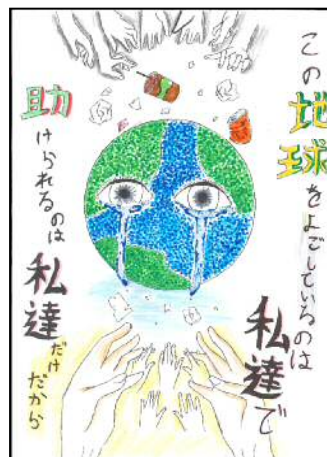
17「パートナーシップで目標を達成しよう」

日本、世界のみみんな協力して取組むことについて

※SDGsの各項目については、別紙をご覧ください。

作品例)

令和2年度
「かんきょうポスターコンテスト」
入賞作品



3 応募対象

苫小牧市内の小学生

4 募集方法

ポスター用紙は八つ切り（392mm×271mm）または B4（364mm×257mm）の画用紙とし、**応募票に必要事項を記入の上、作品の裏面に貼り付け**、環境保全課まで持参または郵送。

※応募票が無くても、裏面に必要事項が記入されていれば良い。

【必要事項】①作品タイトル名 ②選んだ SDGs の番号 ③作品の紹介（0～30 文字程度）
④名前 ⑤学年 ⑥学校名

※郵送の際は募集期間内必着。

※学校等で取りまとめた場合は、訪問し受け取り。

5 募集期間

令和 3 年 12 月 1 日（水）～令和 4 年 1 月 21 日（金）

6 審査及び表彰

審査は苫小牧市環境基本計画推進会議で行い、メッセージ性やデザイン性、オリジナリティなどを基準とする。表彰は令和 4 年 3 月予定。入賞者には賞状と副賞を授与する。また、最優秀賞は令和 4 年度に製版し、市内各所に掲示する予定。

副賞	
・最優秀賞	（1 名）5 千円の図書カード
・優秀賞	（2 名）3 千円の図書カード
・特別賞	（2 名）2 千円の図書カード

7 公表

応募作品は苫小牧市ホームページに掲載する。

また、入賞作品は副読本等の環境関連刊行物・展示イベント等の環境関連啓発事業などに使用する予定。

8 主催

苫小牧市環境基本計画推進会議

9 その他

1. 応募作品の著作権はすべて苫小牧市に帰属するものとする。
2. 個人情報については、苫小牧市個人情報保護条例に基づき、本コンテストの運営に関する以外のもので使用しない。
3. 1 人当たりの応募数の制限は設けない。
4. 応募に係る一切の費用は、応募者の負担とする。
5. テーマに沿っていない作品、過去に他のコンクールで使用された作品、現在別のコンクールに応募中の作品、特定の企業名・商品名が含まれている作品については表彰対象外とする。
6. 応募後の作品の訂正、返却、審査等に関わる問い合わせには応じない。

【最優秀賞】



山内 夏暖 (若草小学校 6年生)

タイトル『自分が出来る工夫を』

作品紹介『日常でできるCO2を減らす工夫をして、地球じゃなく、人の心をあたためようということを表しました。』

SDGsの番号『 7 』

- ・非常にメッセージ性が高くわかりやすいデザイン性も優れており、趣旨にある地球温暖化問題を挙げていたので評価した
「みんなの行動」と書いていて、とても伝わりやすいと感じた
- ・ゼロカーボンシティに向けたメッセージ性が強く表現されている
- ・1人1人に訴えかける強いメッセージが水彩画でやわらかく表現されていると思います
- ・CO₂を削減するための行動が皆さんの心を温め、地球温暖化の防止につながるという、大事なメッセージが伝わります
- ・標語が素晴らしい
- ・タイトル「自分が出来る工夫を」や、「地球をあたためるのはCO₂じゃなくみんなの行動」というのが分かりやすい
- ・『あたためる』というフレーズを上手に使っているまた、内容が分かりやすいイラスト
- ・日常でできるCO₂をへらす工夫が描かれており、とても素敵だと感じた
- ・ひとりひとりの想いと行動が大事というところがよい
- ・気持ちが伝わる絵とタイトルでした
- ・「温暖化の原因はCO₂」と悪者として見られがちなCO₂だが、それ自体は温室効果ガスとして地球上に必要であり、あくまで人為的に排出している我々が地球から見れば悪者なのだと、改めて考えさせてくれる作品

【優秀賞】



近藤 芦羽 (泉野小学校 6年生)

タイトル『ストップ！地球温暖化 水質汚染をなくしてきれいな海へ』

作品紹介『世界中の人が協力して水質汚染をせず、海の豊かさを守ろう。』

SDGsの番号『 17 』

- きれいな海と気持ちよさそうに泳ぐ魚達が上手に描かれており、海を汚さないでとの思いが伝わります
- SDGsのポスターということが分かり、水の大切さやきれいな海の表現が素晴らしい「水質汚染をなくして海の豊かさを守ろう」という思いが伝わってきます
- 17の目標のシンボルマークが描かれており、「海の豊かさを守ろう」というメッセージが強く感じられた
- テーマ性がしっかりしていて、描写も素晴らしい
- 一目で「海を守る」ことが分かるきれいな作品です海洋資源の保全、水質維持に協力を求める素晴らしい作品です
- インパクトが強い、空に大きな3つの手、SDGsに触れているのも良いと思います
- 人の手や海洋生物たちの描画技術は本コンテスト随一

【優秀賞】



池田 優花 (美園小学校 2年生)

タイトル『しぜんの力をかりよう』

作品紹介『しぜんの力をかりて、自分たちもしぜんをまもっていこう。』

SDGsの番号『 7 』

- ・ゼロカーボンを目指す本市にとって、メインとなる太陽光と風力に目をつけたところが素晴らしく、色使いについても暖かい感じが伝わる
- ・童話の「北風と太陽」を連想させる絵であるが、風車やソーラーパネル、青空と緑のバランスが絶妙で、メッセージ性が高い
- ・再生可能エネルギーを創エネしていく必要性が表現されている
- ・具体的な提案が誰にでも分かりやすく表現されていると思います
- ・太陽と雲の表現が良いタイトル「しぜんの力をかりよう」がとても良い自分たちで守っていこうが絵を見て伝わってきます
- ・小学低学年(2年生)で自然エネルギー(風・太陽)を良く理解している絵も纏まっている
- ・地球温暖化を、自然界のクリーンエネルギーに特化して表現しており、伝わりやすい
- ・色合い、メッセージが良い
- ・絵のバランスが良かったです
- ・脱炭素社会の取り組みの再生可能エネルギーは、現任、人々に受け入れられて「導入」「促進」「普及」などを行っているが、自然の力を「かりる」という表現に、我々はハッとさせられるのだろう
また、優しい色使いの中でも濃淡を表現しており、技術的にもレベルが高い

【 3 R 賞 】 (特別賞)



山本 陽奈 (若草小学校 6年生)

タイトル『みんなで行動しよう』

作品紹介『具体的な例をたくさん描きました』

SDGsの番号『 13 』

- 地球環境を左右する人間を中心に据え、温暖化の原因要素をくまなく網羅し、デザイン的に優れていることから、見る者に届きやすいと考える
- 3R等の例を沢山描くことで環境に対する思いとともに、まずは考える前に皆で動き出そうとの思いが伝わります
- SDGsの達成に向けて、自分たちが取り組むべき具体的な行動にまで踏み込んだ表現となっている点が素晴らしいと感じました
- 想うだけではなく、出来ることをやろうと具体的でよい
- 絵がきれいで、メッセージも良い
文字が小さいのが惜しい
- 絵が綺麗で見ると人を惹きつけます
- とても絵が上手！気候変動の要因の一つとなっている様々なものまでしっかりと書いていて、とても分かりやすいと思う
テーマに沿っていて、趣旨にもあっていると感じた
- ゼロカーボンの実現に向け、様々な例を挙げて、丁寧なイラストで分かりやすく表現しており、まさに行動が重要であることを伝えようとしていることが感じ取れる

【とまチョップ賞】（特別賞）



柴田 望愛 （美園小学校 4年生）

タイトル『守ろう自然や生き物を』

作品紹介『文字がはっきり見えるようにした事。

全体がはっきり見えるようにした事。』

SDGsの番号『 14 』

- とまチョップの生まれた苫小牧で、みんなが手と手を取り合って、自然や生き物を守っていこうとする気持ちが伝わってきました
- 文字がとても読みやすく表現されているまた、絵から海洋プラスチック問題が読み取れ、自然と生物を守ることが伝わる色使いについても、バランスが取れていて見やすい
- 人間が自然や生物に対して、大きな包容力で対応することで、地球環境を守る決意が感じられる
- 海の中で手をつなぐ自然環境を守るメッセージが一目で分かる作品です
- 文字も絵もくっきりして良いと思います広げた腕が、自分が自然を守る！が届きました
- いろどりを多く取り入れ丁寧に描かれており、取組によって守られるものがあることが表現されている
- 色彩がよく整理され、美しい作品
- とても見やすい
- メッセージが良く、絵もきれい
- 「海の豊かさを守ろう」というメッセージを感じられたとまチョップも一緒に描かれているのが素敵だと感じた

【ゼロカーボン賞】（特別賞）



佐藤 文香 （勇弘小学校 3年生）

タイトル『地球を大切にしよう』

作品介绍『みなさんがすんでいる地球を守りたいし大切にしてほしいと思います。』

SDGsの番号『 17 』

- あらゆる人類の結束で、地球の温暖化を阻止したいとの思いが伝わってくる
- 地球の周りでたくさんの人が手をつなぎ、住み続ける大切な地球を守りたい気持ちが込められています
全体の色が地球と同じ「青色」で一体感があります
- みんなで大切にしようというメッセージがよく表現されていると思います
- 3年生ながらいろどりを多く取り入れ、地球はみんなで守るものだと表現されており、一生懸命丁寧に描いてくれたことが伝わる
- 人と動物の輪で地球を囲み、地球上の全員で地球を守っていこうというメッセージを伝わってくる
青で塗りつぶされた宇宙（背景）のインパクトが強く、そこに施されたカラフルな色使いが見る者の目を引き、ポスターとしての完成度が高いと感じる

事業概要

「親子でエコ・クッキング教室 ～地球温暖化防止について一緒に学ぼう～」

1. 趣旨・目的

地球温暖化防止についてのミニ講座や、環境への負荷を減らす省エネ料理を子どもと一緒に実践していく中で、家庭でもできる身近なエコ活動について学ぶ。

2. 企画概要

- (1) 主 催 苫小牧市環境基本計画推進会議（事務局：環境保全課）
- (2) 日 時 令和 4 年 2 月 19 日（土）11：00～14：00
- (3) 会 場 苫小牧市民活動センター 5 階 料理実習室
苫小牧市若草町 3 丁目 3 番 8 号
- (4) 協 力 北海道環境生活部環境局地球温暖化対策室
- (5) 講 師 北海道地球温暖化防止活動推進員 奥谷 直子氏
- (6) 対 象 苫小牧市民の親子(小学生以上) 20 名 ※抽選
- (7) 事業評価 参加者アンケート、事業結果は推進会議 HP に掲載
- (8) 周 知 広報とまこまい 2 月号、ポスター、ホームページ、
Facebook、LINE
- (9) 募 集 2 月 1 日（火）～2 月 8 日（火）※抽選日 2 月 9 日（水）
「電話」「FAX」「メール」「電子申請」いずれかの方法で
① 氏名②年齢③住所④電話番号⑤託児の有無
を記載し、環境保全課まで申込む
- (10) そ の 他 託児所設営（料理実習室向かい「学習交流室」にて）

3. 実施内容

省エネクッキングの実践、地球温暖化防止ミニ講座
推進会議委員の役割：参加者の調理実習の補助

**新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策に伴い
事業中止**

令和3年度活動実績について

<令和3年度の実施事業>

活動内容	結果概要
せせらぎスクール 7月27日(火) 13:00~15:30	○会場：オートリゾート 苫小牧アルテン (覚生川) ○講師：環境保全課職員 ○参加人数：子ども28名、保護者23名、委員5名 ○結果：今年度から自転車人力発電体験をプログラムに取り入れ水辺の環境保全と再生可能エネルギーについて学んだ。
ウトナイ湖漁業体験 (環境生活課コラボ)	○会場：ウトナイ湖 ○講師：ネイチャーセンターレンジャー、ウトナイ養殖漁業会、環境保全課職員 新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策に伴い中止
親子森林整備体験 「秘密基地を作ろう！」	○会場：イコロの森 ○講師：NPO 法人いぶり自然学校 新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策に伴い中止
エコ企業見学会 11月25日(木) 12:45~16:00	○協力企業：㈱イワクラ、苫小牧バイオマス発電㈱ ○講師：協力企業職員 ○参加人数：市民8名、委員3名 ○結果：企業の取組及び施設を見学することで、カーボンニュートラルや地球温暖化対策への関心がより身近となり、本事業をとおして市民の環境保全に対する意識向上が図られた。
親子でエコ・クッキング教室	○会場：市民活動センター5階 料理実習室 ○講師：北海道地球温暖化防止活動推進員 奥谷 直子 新型コロナウイルス感染症の感染拡大対策に伴い中止
苫小牧ゼロカーボンシティ宣言記念 「ゼロカーボンポスターコンテスト」 募集期間 12月1日(水)~1月21日(金)	○対象：市内の小学生 ○応募件数：35件 ○審査：推進会議委員14名、環境衛生部5名 ○表彰：最優秀賞1名、優秀賞2名、特別賞3名 ○内容：市内の児童からゼロカーボン(地球温暖化対策)に関するポスターを募集することで、次世代にとって地球温暖化問題を身近なものとし、環境に対する保全意識を高める。
突撃!とまエコ企業 第1回 8月30日(月) 第2回 11月29日(月)	○協力企業：日本CCS調査㈱(第1回) 大鎮キムラ建設㈱(第2回) ○内容：苫小牧市内の企業におけるエコな取組を取材し、作成した動画をインターネット上で公開する

<令和3年度の会議概要>

日時	内容
第1回(書面開催) 6月11日(金)~6月18日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧市環境基本計画推進会議について ・苫小牧市第3次環境基本計画の概要について ・令和2年度実施事業について(活動報告) ・令和3年度実施事業について(活動予定)
第2回 10月5日(火) 13:30~14:30	<ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧市第3次環境基本計画進捗状況(令和2年度)について ・令和3年度実施事業について(活動報告及び今後の予定) ・令和4年度実施事業(企画案)について
第3回(書面開催) 3月15日(火)~3月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度実施事業について(活動報告) ・令和3年度活動実績について ・令和4年度実施会議・事業について(案)

令和4年度 環境基本計画推進会議予定(案)

資料3

開催日時	会議内容
第1回 令和4年6月開催予定	・令和4年度実施事業について(活動予定)
第2回 令和4年9月開催予定	・令和4年度実施事業について(活動報告及び今後の予定) ・苫小牧市第4次環境基本計画(仮称)について ・令和5年度実施事業(企画案)について
第3回 令和5年3月開催予定	・令和4年度実施事業について(活動報告) ・令和5年度実施会議・事業について(案)

令和4年度 環境基本計画推進会議事業予定(案)

※開催日は日程調整の都合上、仮に設定したものです。

※事業名称は変更となる場合があります。

事業内容	過去5回実績
<p>【身近なゼロカーボン見学会】 資料3-1</p> <p>内 容:市民が身近に(お金をかければ)実施できるゼロカーボンの先進的な技術について紹介すること で関心・導入意欲を増進させ、本市のゼロカーボンの増進と市内企業の活性化を同時に図る。</p> <p>開催日:未定</p> <p>協力企業:大鎮キムラ建設㈱、トヨタカローラ苫小牧㈱とまこまい店</p> <p>対 象:苫小牧市民</p> <p>定 員:15人 ※抽選による</p>	<p>実施:(初)</p>
<p>【せせらぎスクール】 資料3-2</p> <p>内 容:水生生物の採取、生育調査等による環境学習。水質判定等による水環境の現状及び 風力発電機づくりによる再生可能エネルギーについて学ぶ。</p> <p>開催日:7月下旬～8月上旬 (2回)</p> <p>場 所:覚生川(オートリゾート苫小牧アルテン内)</p> <p>対 象:小学生以下の子どもと保護者(3年生以下は保護者同伴必須)</p> <p>定 員:60人(保護者は除く) ※抽選による</p>	<p>実施:平成21年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度(8月) ・平成30年度(8月) ・令和元年度(7月) ・令和2年度(8月) ・令和3年度(7月)
<p>【ウトナイ湖漁業体験&湖岸スクール】 環境生活課共催事業 資料3-3</p> <p>内 容:ウトナイ湖の水質検査を行い、水質によりどんな魚が生息できるのか、漁業体験を通して調査し、 自然や生物とのふれあい方など自然環境保全の大切さを学ぶ。</p> <p>開催日:8月下旬～9月上旬</p> <p>場 所:ウトナイ湖</p> <p>対 象:小学生以下の子どもと保護者</p> <p>定 員:30人(保護者含む) ※抽選による</p>	<p>実施:平成30年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度(8月) ・令和元年度(8月) ・令和2年度(9月) ・令和3年度(コロナ対策事業中止)
<p>【親子森林整備体験「秘密基地をつくろう!」】 資料3-4</p> <p>内 容:スタッフの指導のもと、間伐、間伐材による秘密基地作り、薪割り等の体験を通じて、 森林整備の大切さを学ぶ。</p> <p>開催日:10月下旬～11月上旬</p> <p>場 所:イコロの森</p> <p>対 象:小学生以下の子どもと保護者</p> <p>定 員:20人(保護者含む) ※抽選による</p>	<p>実施:平成29年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度(11月) ・平成30年度(10月) ・令和元年度(10月) ・令和2年度(コロナ対策事業中止) ・令和3年度(コロナ対策事業中止)

<p>【親子でエコクッキング教室】 資料3-5</p> <p>内 容:地球温暖化防止ミニ講座や、環境への負荷を減らす省エネ調理法を子どもと一緒に実践していく中で、家庭でもできる身近なエコ活動について学ぶ。</p> <p>開催日:2月中旬～2月下旬</p> <p>場 所:市民活動センター5階調理実習室</p> <p>対 象:小学生以下の子どもと保護者</p> <p>定 員:親子20名 ※抽選による</p>	<p>実施:平成17年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度(3月) ・平成30年度(3月) ・令和元年度(2月) ・令和2年度(コロナ対策事業中止) ・令和3年度(コロナ対策事業中止)
<p>【突撃!とまエコ企業】 内容について未定</p> <p>内 容:苫小牧市内の企業におけるエコな取組を取材し、作成した動画をインターネット上で公開することで、市民への環境啓発を行う。</p> <p>開催日:未定</p> <p>場 所:トヨタカラー苫小牧㈱とまこまい店、JX金属苫小牧ケミカル㈱ 他 (予定)</p>	<p>実施:令和2年度～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度(12月) <p>㈱イワクラ、苫小牧バイオマス発電㈱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度(8月)(11月) <p>日本CCS調査㈱、大鎮キムラ建設㈱</p>

以下2事業は実施について未定

<p>【植樹体験(仮)】 内容について未定</p> <p>内 容:植樹体験を通し、自然環境保全の大切さを学ぶ</p> <p>開催日:未定</p> <p>場 所:未定(独自の事業としてではなく、他課や事業者が行う活動と連携して行う)</p> <p>対 象:小学生以下の子どもと保護者</p> <p>定 員:未定</p>	<p>実施:(初)</p>
<p>【再生紙づくり(仮)】 内容について未定</p> <p>内 容:再生紙づくりと3R活動を通し、限りある地球の資源を有効に繰り返し使うことの大切さを学ぶ</p> <p>開催日:未定</p> <p>場 所:未定(独自の事業としてではなく、他課や事業者が行う活動と連携して行う)</p> <p>対 象:小学生以下の子どもと保護者</p> <p>定 員:未定</p>	<p>実施:(初)</p>

身近なゼロカーボン見学会 ～ エコハウス・エコカー 編 ～ (案)

1 趣旨・目的

市民が身近に（お金をかければ）実施できるゼロカーボンの先進的な技術について紹介することで、関心・導入意欲を増進させ、本市のゼロカーボンの増進と市内企業の活性化を同時に図る。

2 実施内容

- 大鎮キムラ建設(株)様 御協力のもと、モデルハウスの見学会
 - ・モデルハウスにて各設備の説明（太陽光パネル、V2H（ビークル・ツー・ホーム）等）
 - ・パネル等を用いた ZEH（ゼッチ）の説明
 - ・光熱水費、電気代が具体的にどの程度節約になり、一般的な住宅と比較して何年間で初期投資の回収が出来るか等の説明
- トヨタカローラ苫小牧(株) とまこまい店様 御協力のもと、次世代自動車の内覧
 - ・電気自動車、水素自動車の説明
 - ・一般的な自動車と比較した、燃費や維持コスト等についての説明

3 企画概要

- (1) 主 催 苫小牧市環境基本計画推進会議
- (2) 日 時 未定
- (3) 見学施設 大鎮キムラ建設(株)、トヨタカローラ苫小牧(株)とまこまい店
- (4) 講 師 上記事業者の担当者
- (5) 対 象 苫小牧市民 15 人（抽選）
- (6) 開催告知 広報とまこまい、広報メモ、HP、ポスター、Facebook、市公式 LINE
- (7) 申込期間 未定
- (8) 申込方法 電話、FAX、Eメール、電子申請
- (9) 事業評価 参加者アンケート、事業結果は環境保全課 HP に掲載

5 その他

- ・市役所東側集合、解散とする。
- ・推進会議委員の役割：見学中における参加者の安全確保。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じる。

せせらぎスクール実施概要（案）

1 趣旨・目的

自然環境や水生生物に接する体験を通して、子ども達に自然環境保全の大切さを学んでもらう。
また、簡易風力発電機づくりや自転車による人力発電等による体験から、再生可能エネルギーについて理解を深め、省エネ・新エネへの関心を高める。

2 実施内容

- 「覚生川」で調査を行う（きれいな水）
 - 参加者配布…簡易鉛筆と用紙をクリップで下敷きに挟み、配布
 - 水辺調査…水温、水深、流速、川幅を測定、記録
 - 生物採取…採取道具（網、ザル等）を使用し、採取
 - 生物分類…担当職員の協力により採取した生物を分類し、観察
 - 結果考察…水辺環境と生物の生息地域の関連性、環境保全の大切さについて学ぶ。
- 簡易風力発電機を作り、風による発電を体験
- 自転車による人力発電体験

3 企画概要

- (1) 主 催 苦小牧市環境基本計画推進会議
- (2) 日 時 令和4年7月下旬～8月上旬
※30名ずつで2回実施（午前・午後 又は 別日）
- (3) 会 場 オートリゾート苦小牧アルテン「覚生川」
- (4) 講 師 環境保全課職員
- (5) 対 象 苦小牧市の小学生60人（保護者は除く）抽選
- (6) 開催告知 広報とまこまい7月号、広報メモ、HP、ポスター、Facebook、市公式LINE
- (7) 申込期間 7月1日（金）～7月15日（金）
- (8) 申込方法 電話、FAX、Eメール、簡易申請（HARP）
- (9) 事業評価 参加者アンケート、事業結果はHPに掲載

4 その他

- ・新型コロナウイルス感染防止策及び熱中症対策を講じた取組みとする。
- ・現地集合、現地解散とする。
- ・小学3年生以下の児童が参加する場合は、必ず保護者同伴とする。
- ・推進会議委員の役割：体験中における参加者の安全確保及び補助。

ウトナイ湖漁業体験&湖岸スクール実施概要（案）

1 趣旨・目的

ウトナイ湖の水質調査実施の結果を踏まえ、生息できる魚種など漁業体験を通した中から、自然や生物とのふれあい方など自然環境保全の大切さを学ぶ。

2 実施内容

湖岸スクール・ウトナイ湖にて水質検査を行う。

参加者配布・CODパックテスト、測定表

（ウトナイ湖、他の川の水質を比べる）

結果考察・パックテストの結果から魚の生態を学び、この後の漁業体験時に実際にウトナイ湖にはどんな魚がいるか興味を持ってもらう。

また、魚が住める川にするためにはどうすればいいのか、水辺環境と生物の生息地域の関連性を学び、環境保全の大切さを学ぶ。

漁業体験・ウトナイ養殖漁業会指導のもと、地引網により魚を体験する。

試食・実施しない

3 企画概要

- (1) 主催 苫小牧市環境基本計画推進会議（環境生活課共催）
- (2) 日時 令和4年8月下旬～9月上旬
- (3) 会場 ウトナイ湖（集合場所：野生鳥獣保護センター）
- (4) 講師 環境保全課職員、ウトナイ養殖漁業会
- (5) 対象 漁業体験参加者のうち小学生（保護者含む）30名
- (6) 開催告知 広報とまこまい8月号（環境生活課で掲載）
- (7) 申込期間 令和4年8月1日（月）～令和4年8月15日（月）
- (8) 申込方法 環境生活課またはウトナイ湖野生鳥獣保護センターに電話
- (9) 事業評価 事業結果はHPに掲載

4 その他

- ・現地集合、現地解散とする。
- ・小学3年生以下の幼児、児童が参加する場合は必ず保護者同伴とする。
- ・推進会議委員の役割：体験中における参加者の安全確保及び補助。

親子森林整備体験「秘密基地をつくろう！」 実施概要（案）

1. 趣旨・目的

自然の中で、遊びや体験を通して森林整備を学び、森林環境保全への意識を高める。

2. 実施内容

スタッフの指導のもと、間伐を体験し、間伐材による秘密基地作りや薪割り等の体験を通じて、森林整備の大切さを学ぶ。

3. 企画概要

(1) 主催	苦小牧市環境基本計画推進会議
(2) 日時	令和4年10月下旬～11月上旬 10:00～12:00 ※荒天の場合は中止（小雨程度であれば開催）
(3) 会場	イコロの森 ※現地集合・現地解散
(4) 講師	NPO 法人いぶり自然学校
(5) 対象	苦小牧市民の親子20名（子は小学生以下）
(6) 開催告知	広報とまこまい10月号、広報メモ、HP、ポスター、Facebook等
(7) 申込期間	10月3日（月）～10月17日（月）※抽選
(8) 申込方法	電話、FAX、電子メール、電子申請
(9) 事業評価	参加者アンケート、事業結果は推進会議HPに掲載
(10) 予算	講師謝礼 20,000円 消耗品 23,079円 火災保険料 1,590円 会場賃借料 8,800円

4. その他

- ・体験中は参加者の安全確保及び補助が推進会議委員の役割となる。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じる。

事業概要（案）

「親子でエコ・クッキング教室 ～地球温暖化防止について一緒に学ぼう～」

1. 趣旨・目的

地球温暖化防止についてのミニ講座や、環境への負荷を減らす省エネ料理を子どもと一緒に実践していく中で、家庭でもできる身近なエコ活動について学ぶ。

2. 企画概要

- (1) 主催 苫小牧市環境基本計画推進会議（事務局：環境保全課）
 (2) 日時 令和 5 年 2 月中旬～下旬 11：00～14：00
 (3) 会場 苫小牧市民活動センター 5 階 料理実習室
 苫小牧市若草町 3 丁目 3 番 8 号
 (4) 協力 北海道環境生活部環境局地球温暖化対策室
 (5) 講師 北海道地球温暖化防止活動推進員 奥谷 直子氏
 (6) 対象 苫小牧市民の親子(小学生以上) 20 名 ※抽選
 (7) 事業評価 参加者アンケート、事業結果は推進会議 HP に掲載
 (8) 周知 広報とまこまい 2 月号、ポスター、ホームページ、
 Facebook、LINE
 (9) 募集 2 月 1 日（火）～2 月 8 日（火）※抽選日 2 月 9 日（水）
 「電話」「FAX」「メール」「電子申請」いずれかの方法で
 ① 氏名②年齢③住所④電話番号⑤託児の有無
 を記載し、環境保全課まで申込む
 (10) その他 託児所設営（料理実習室向かい「学習交流室」にて）

3. 実施内容

省エネクッキングの実践、地球温暖化防止ミニ講座

4. 当日のスケジュール

時間	内容		
9：00	会場設営開始	運営・講師	
10：35	託児受付開始	運営	
10：50	一般受付開始	運営	
11：00	開会 主催者挨拶 講師紹介 本日の実施概要説明	運営	
11：15	エコ・クッキング説明	講師	
11：25	エコ・クッキング調理実習	講師	「地球温暖化防止ミニ講座」 保温時間中 20 分程度
13：00	試食と講評 集合写真撮影	全員	
13：30	後片付け	全員	
14：00	閉会・解散		

・推進会議委員の役割：参加者の調理実習の補助。

各資料の説明（資料 1～3 及び意見書）

■ 令和 3 年度実施事業について

① エコ企業見学会【資料 1-1】

企業の取組及び施設を見学することで、カーボンニュートラルや地球温暖化対策への関心がより身近となり、本事業をとおして市民の環境保全に対する意識向上が図られました。

令和 2 年度では新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にともない実施できませんでしたが、今年度は参加人数を絞る等、各種感染対策を講じた上で開催することができました。

本事業では、間伐材や廃材等の再利用や、バイオマス発電における地産地消の再生可能エネルギーについて各企業の担当者様より説明をいただきました。

参加者の皆様からは、「企業の取組内容や商品にとっても興味を持った」「大人になってからののはじめての工場見学で楽しかった」等のご好評をいただくことができました。

② 突撃！とまエコ企業 大鎮キムラ建設(株)編【資料 1-2】

環境保全課職員が企業担当者の随伴で施設見学を行い、エコな取組等の様子をカメラで撮影し、インターネット上で公開することで、市民への環境啓発を行います。

今年度第 2 回目の本事業では、大鎮キムラ建設(株)の ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）（略称 ゼッチ）のモデルハウスで取材・撮影を行いました。ZEH は家の中で生産・使用されるエネルギーの差引が概ねゼロ以下となる住宅のことを言います。担当者様より、ZEH に設置された様々な省エネ設備等について説明をしていただきました。

本動画については 3 月中に公開予定です。

公開されましたら、後日改めて委員の皆様へお知らせいたします。

③ 苫小牧ゼロカーボンシティ宣言記念「ゼロカーボンポスターコンテスト」【資料 1-3】

市内の児童からゼロカーボン（地球温暖化対策）に関するポスターを募集し、次世代にとって地球温暖化問題を身近なものとし、環境に対する保全意識を高めました。

本事業は新型コロナウイルス感染症対策により、各事業の代替として開催いたしました。

12 月 1 日～1 月 21 日の期間で募集を行い、全 35 点の作品の応募があり、計 6 点を入賞としました。最優秀賞の作品はポスター化し、市内公共施設等に掲示します。また、その他の作品は全て翌年度の 6 月環境月間パネル展（市役所 2 階）において掲示する予定です。

④ 親子でエコ・クッキング教室【資料 1-4】

新型コロナウイルス感染症対策にともない、本事業は開催中止となりました。

■ 令和3年度活動実績について【資料2】

令和3年度に実施した会議・事業をまとめた資料です。

★各事業の参加人数について

- ① せせらぎスクール 51名（子ども28名、保護者23名）
- ② エコ企業見学会 8名
- ③ ゼロカーボンポスターコンテスト 35名

合計 94名（委員除く）

④ 突撃！とまエコ企業

- ・(株)イワクラ編 558回（再生回数）令和3年3月31日～本日まで
- ・苫小牧バイオマス発電(株)編 1,181回（再生回数）令和3年3月31日～本日まで
- ・日本CCS調査(株)編 680回（再生回数）令和3年11月25日～本日まで

※日本CCS調査(株)編は、JCCS公式アカウント公開動画の再生回数166回を含む

合計 2,419回

第3次環境基本計画 第5章「推進管理」で評価指標として掲げる年間の目標値である100名を残念ながら下回りましたが、基準値である80名を超え、市YouTube公式チャンネルで公開する各動画においても一定の再生回数があることから、環境保全に関する市民の意識醸成が図られていると考えております。

■ 令和4年度実施会議・事業について（案）【資料3】

令和4年度に実施予定の会議・事業をまとめた資料（案）です

はじめに、会議については例年通りの日程・内容となっております。

第2回会議における「苫小牧市第4次環境基本計画（仮称）」について、環境基本計画が令和4年度に中間見直し時期となるため、このような記載をしております。改訂内容等について、委員の皆様へご説明したいと考えております。

次に、各事業については例年参加者から人気がある事業、令和3年度に開催できなかった事業、委員の皆様からご提案いただいた事業の開催を予定しております。

事業の概要については【資料3-1】～【資料3-5】までをご確認ください。現時点で活動の詳細が決まっていない場合は事業概要がございませんので、ご了承ください。

なお、「エコ企業見学会」については「突撃！とまエコ企業」及び「身近なゼロカーボン見学会」へ吸収される形で、令和4年度の実施を予定しておりません。

開催日を含め各事業の詳細が定まりましたら、改めて推進会議や、郵便・メール等にて委員の皆様へ連絡いたします。

≪審議関係資料≫ (※重要!!)

【意見書】 について

郵便、FAX、電子メールのいずれかの方法で3月22日(火)(必着)までに必ず御提出をお願いいたします。郵便の場合は、同封している返信用封筒を御使用ください。

【最後に…】

いまだ収束の見通しが立っていない新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、市の判断で、書面開催への変更や事業の中止を行う可能性があります。事務局一同、実施に向け準備して参りますが、万が一中止となった場合は、皆様のご理解、ご協力の程、宜しくをお願いいたします。